

2020年12月14日
ドルトン東京学園中等部・高等部
校長 荒木貴之

ドルトン東京学園における新型コロナウイルス感染者の発生について

12月14日（月）、本校生徒1名が新型コロナウイルス感染症の検査で陽性であることが判明しました。

保健所への確認の結果、生徒本人の行動履歴およびドルトン東京学園中等部・高等部での感染防止対策の取り組み状況から、「感染可能期間には登校しておらず、休校や消毒等の措置は必要ない」との判断がありました。

そのため、校舎閉鎖や休校措置は行わず、現在行っている週1日の分散登校および週4日のオンライン授業を継続いたします。

なお、生徒および教職員の安全を第一に考え、念のため校舎内の消毒を12月14日（月）に実施済みです。

今後も本校では、生徒と教職員の安全を最優先し、引き続き健康観察・マスク着用・校舎入口でのサーモグラフィー等による検温・手洗いうがいの励行・間隔を空けた席配置・定期的な換気・消毒などの感染予防・拡大防止の徹底に努めてまいります。

<報道関係者のお問い合わせ先>
ドルトン東京学園中等部・高等部
副校長 安居長敏
03-5787-7945